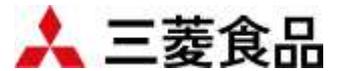


農林水産省食料産業局長賞  
三菱食品株式会社

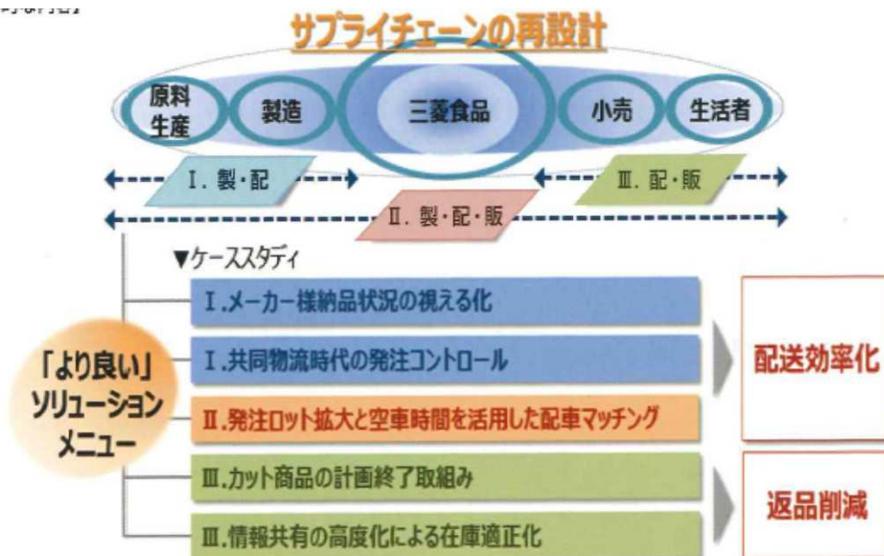


製・配・販連携によるサプライチェーン全体の効率化活動



配送の効率化や返品削減の取り組みを具体的に教えてください。

三菱食品では、サプライチェーン全体を考える卸売業の特徴を活かし、配送の効率化や返品削減に取り組んでいます。その中で、製・配・販の三方良しを積み上げ、生活者に寄与していくことを目指しています。食品ロス削減の観点からは特に、配・販の連携による返品削減に力を入れています。具体的には、特定小売業との取り組みでカット商品の情報を共有し、残在庫を限りなくゼロにしています。これまでは、カット日まで欠品しないように在庫を持っていたため、カット日以降は滞留在庫となり、返品や廃棄の要因となっていました。また、小売業より個店データの提供を受け、確実なデータを活用した発注・在庫コントロールを実施することにより、在庫過多による廃棄ロスや返品を防ぎつつ、欠品も防止するよう取り組んでいます。



今後の製・配・販の連携はどのように進化させていくお考えでしょうか？



現状の問題を一気に解決させることは困難であると認識しています。しかしながら、この取り組みのように製・配・販の更なる連携の促進や相互のインフラ・情報共有によって改善できる余地は多くあると考えています。引き続き、賛同いただけるメーカー・小売業を増やししながら、連携を密にし、エリアや立地ごとにお互いの課題やニーズをマッチングして解決プランを導き出していきます。

**POINT !**



- ・ サプライチェーン全体で連携した取り組み！
- ・ 情報共有によって、返品・廃棄を削減！